

八幡市會に九軌対策委員會

設置に關する建議案を提出せしむ
 晨に中央委員會に於て公共事業なる美名の下に、電車に電燈に其の独善事業を奇譚として民衆の利益を調練して毫も顧る事なきが故に之に對する調査研究の爲九州電氣軌道株式會社対策委員を設置して委員六名を挙げて調査研究中の八幡市會を得たのであるを基本として先づ八幡市會に九軌問題対策委員會を設置せしめ八幡市として九軌に交渉せしむると同時に、就會等を開きて大衆の輿論を練起して大が要求の達成を圖る事に其後の中央委員會に於て決定したので十一月廿八日開催の八幡市會に民憲黨選出の四名の議員を以て建議案として是を提出せしむると至つたのである。

此日八幡市會は空前の傍聴者で以て満たされ一ニ議案の審議の後九軌問題対策委員會設置に關する建議案の審議に移るや勞頭民憲黨の堂本君起ちて堂々四十分間に亘り九軌の横暴を責めて此の対策委員會の設置は八幡全市民の要求である故に設置すべしであるといふ同様の意見、長尾、重佐の民憲黨選出市會議員が熱烈なる賛成演説を試み難狂せる傍聴者も又議長の制止おも聞かざりて是に對して此間憲政兩派の議員は替否の意見を一言すらも付かず全く沈黙を守りて愈々採決に入らば民憲黨選出の四名の議員と中立の三議員が替成し

たのみにて醜像の如く終始沈黙を守りて一言の替否の意見をも述べず否決した。

此の堂々たる議案の審議は五日の連続市會に於て政憲合同して八幡市元新電氣事業調査委員會設置の建議案を提出せしむたが其の本質は終つて前日民憲黨議員より提出された建議案と殆ど同一なる内容を有するに就て進んで之に賛成して之を議決せしめたが委員の選出に際して自案を投じて出た案に依つて如何に民憲黨が市民の利益を無視して党利党畧のみに終つて居るかを自ら大衆に暴露した。

農民労働党結党禁止後の民憲黨の態度決定

十二月一日農勞党が結党後三時間にして解散を命ぜらるゝや吾が民憲黨に於ては上京委員の帰郷を待ちて十二月六日緊急中央委員會を召集して今後の運動方針を決定した。先づ上京委員より組織準備委員會より結党解散命令に至る迄で詳細に報告し且つ各団体間の関係、思想形態及び今後の予想等より亘り御足説明より、各委員の民憲黨の今後の運動方針に關する意見を出で、猛烈なる討論の末

民憲黨は地方政會としての短所欠点を明確に意識し以て党の實力を養成しつゝ、階級的單一無産政党的結成のため従来如く邁進する事とし然して之が実行方法として無産政党组織九州地方協議會をして全目的無産黨の基礎的一分子たりしむるべく同會に提議せしむる爲委員五名を選挙した。

委員 河島良二、豊田田花、鶴 幸七、松尾政六、宮久史